

ウツキコモリグモは、卵のうをむ、こえ元に徘徊しています。
クサグモの赤ちんも、サゲんに棚網をは、こいます。みなさん
のところのクモはいかがですか、お便りをおまらしています。

・住所変更・新入会員の方ごす よろしく。

・大山彰夫 〒960-07 福島県伊達郡梁川町大字薬野字作田34-2

・中井恒夫 〒735 広島県安芸郡府中町清水ヶ丘 20-4

-以上、新入会員-

・中津由実 〒214 神奈川県川崎市多摩区登戸 494

・加藤輝代子 〒272 千葉県市川市菅野 3-1-6 あびる荘

・神子島毅 〒305 茨城県新治郡桜村天久保 2-1-1
筑波大学 追越学生宿舎 25号棟 424号室

・吉田 哉 〒996 新庄市、十日町 2765の5 佐竹パート

-以上、住変-

春の採集会・観察会 5月16日(日)

神武寺

集合 京浜急行 神武寺駅に

午前10時30分までに集ま、こ下さい。

(雨天 決行)

責任者 熊田憲一

TEL 0425-55-4462

〒190-11 西多摩郡 羽村町 羽加美 3-6-31

〔東京郊の小沢さんより〕

「ジョロウグモ33匹の便りに学ぶこと。小沢寅樹

今年の夏、静岡市内に住む、デザイナーの友人が上京の折、懇話会にクモの話ができた。そこで、「今年は、ジョロウグモの数が少いようだが、静岡市ではどうだろうか。」と私がしつもんした。後日、「君のしつもんに応えよう」といって、特別に興味をもち、こいする友人ごは、なかなかなが、こわしい便りをもらった。その便りによると――

① 観察場所 -- 静岡市内の友人の家。敷地内・約140坪。たぶし庭は、約100坪。

② 観察月日 -- 昭和56年8月2日 (夕方)

③ 主に見られたクモ

① ジョロウグモ .. 33匹 (♀のみ)
(体長 0.5~1.3cm)

② ナガコガネグモ .. 4匹 (♀のみ)
(体長 1.5~2.0cm)

コガネグモは見当らなかつた。車を抜く前には、たしか2匹ほどいたとおもった。

④ 敷地内、庭や家のベランダなど、ジョロウグモは全体に分布しているが、ナガコガネグモは、ほぼ一ヶ所にあつまっていることが平面図にあり、クモの

分布図が描かれていた。

⑤ その他

① ことしは、ジョロウグモの数が少いようだ。例年は、今おもえば、100匹ぐらいはいたとおもう。

② 今年はセミも少し。コオロギは多いようだ。

以上が、友人からとどいたクモ便りの要約です。なにげなく話をしたクモ談議が、おもしろいので、友人を恐ろしく思われ、たまたまして、図鑑を求め、調べてくれた友人に、くわいして、わが家のクモ分布も調べてほしいと、自分がはぶかしくなりました。小さいことかおもしろいけど、友人のや、た観察の態度こそ、その原点、とおもう。わが家のクモ分布をまとめ、友人への返信としよう。

(56.11.3)

小沢さん、ありがとうございます。ました。小沢さんのお宅にも、おもう。クサグモは、おじましていることでしょうし、あと40日おすれば、ジョロウグモも、おとすれるのではないでしょうが。ガンバッテ下さいませ。

全国からのクモ便り

心よりお待ちしております。

(東京都の私本より)

意外な人ク意外のどこのう者者した。百本えつぐ作
 らた恋にぞはこのう者者した。百本えつぐ作
 こえ「復」とい文章でう者者した。百本えつぐ作
 う「復」とい文章でう者者した。百本えつぐ作
 う「復」とい文章でう者者した。百本えつぐ作
 う「復」とい文章でう者者した。百本えつぐ作

「海霧 (ガズ) は、あつらるも
 のが視界を奪い、熱を奪う。
 らむ流れは、どんすこめ、証拠の氷滴を、
 無教に残してい。束かげに潜
 む小せなりもの毛臍 (けずね)
 すら、執拗にぬらしていくのぞ。

著者は、このガズ道にまよ
 い、牛にみつけられ、つれ帰
 るたという経験をした。と
 いまふ。

もう一つのりその部分、黒い
 体に金屑光沢の背をカセグ、
 マート百エヅマイテイカブリ
 え物のカタツムリを採し、
 のにも出くわしたし、牧草の
 いだに、きれいな岡田家は
 アカイニグモの隠れ家

みつけ、その熱れたイチゴ
 のような赤い腹を撫でてみた
 りもした。

この部分には、著者ごもくても
 られたアカイニグモをめぐって
 ば、手にも、てみたみるの
 りかに、する私ち、れ、ま
 らしにした感融を、この
 屋に出した人のバカさ
 んにみられるは、ズルイ
 れた私は、ズルイという
 るのでしうか?
 最後に問題を一つ。
 この本の著者と題名は?

(1981, 12, 15)

もう一通 12/26 付の「便り」
 を私本誠希エにいただいておき

才25回日本学生科学賞入賞作
 。中に、ウモカンケいふ題あり
 ましたので、お知らせしておき
 ます。1981年12月26日(土)
 読売(しんぶん)(日刊)11面より。

中学校の郎 3等賞 (20点中22点)
 「子持ちグモの研究」
 岐阜県高山市立中山中学校
 1年 新家裕郎

。「ジグモの研究 II」
 静岡県伊東市立南中学校
 1,2,3年 手毛靖他20人

私本エ、ありがとうございます。

3ばんめはヒラタグモでした。
 そのとまりには、卵のうをひと
 つもったネコハグモがいました。
 私たちの方では、広葉樹の葉表
 に、天幕網をは、ているものよ
 りも、ブロックなどの溝に、網
 をは、ているものの方が多いま
 うです。秋のおわり頃にも否を
 みるこがどまますが、4月頃
 にも否をめるこがどまます。
 今、産卵したクモは、いたる
 どちらの時期に交配したものを
 のごしやうが、私の分までの観
 察では、ネコハグモは、1回の
 交配で3〜4回の受精卵をうむ
 ことは普通で、中には8個も卵
 のうをつくるものがありました。

さらに少しはるれたところに、
 オオヒメグモが数個体います。
 Pad. ad. がいるかとおもう
 と、3令幼虫ぐらいのもちおり
 ます。オオヒメグモの場合、い
 つの時期でも、いろいろのstage
 のものがいるようです。さらに
 ブロックべいに沿って歩いてい
 きますと、みどるところに、
 シロスジショウジョウグモの赤色
 黒毛硬球の個体がおりました。
 つづいて、エウレイグモもみつ
 けるこがどましました。

いばらくいまよると、ブロック
 とブロックの間に白い住居があ
 りました。ハエトリグモのよう
 です。ピンセットで住居をはか
 していくと、オオヒメグモが
 だてましました。佐藤エシが、
 おかしめるには、少し冷える際
 などには、よくハエトリグモが
 住居をつくるようです。この住居
 に、脱皮ガウはありませでした。

次にムナボシヒメグモが葉を
 あらわしました。ヒメグモ科の
 クモにもががわらす。センショ
 ウグモのようる behavior の
 ぞ。すこわがります。Pad. ad.

10番めのクモは、中学エドモ
 の中津エシが採年せました。
 ムナボシカクログモでした。
 11番めは *Araneus ventricosus*
 でした。今春、出たもの
 ようです。

地上にめとや、てみると、11が
 コモリグモが徘徊していました。
 太い倒木の樹皮をはがしてみ
 ると、エキスイエトリがでてま
 した。ヘリジロサウグモのふも
 どにからが音をみせました。

14番めのクモは、ゴミグモで
 した。体の大きいわりには、わ
 りとコンパクトな網を張って
 いました。Pad. ad. 同じ *Cylosa*
 ぞ。ヨツデゴミグモもめるこ
 がどましました。中津エシによ
 ると、ちよ、とした刺激に對して
 網を振動させるものと、そうど
 ないものが、ヨツデの中にある
 そうです。

ヤマシはオニグモのオ4令幼
 虫ぐらいのもの個体も数多
 いです。

ツツジの葉の空間には、バウ
 ギヒメグモ、葉の上には、オオ
 ヒエビグモが徘徊していま
 した。こんきに猛スピードで
 動いているのに、産卵すると、
 卵のうの上でじっとして、保護
 するということ。不思議です。

ホルモン阿をバランスのかん
けいどそうなるのどしようが。
この他にも、マネキグモ・サツ
マノミダマシがいまいに。

クワグモが多にしていることは、
先ほども述べましたが、コクワ
グモの幼虫をみるのがごまま
した、今の時期のコクワグモは
Cephalothoraxも Abdomenも
赤褐色のどす。

ぶ衆めは、さしと、ツリガネ
ヒメグモをおおおうとしている
センショウグモをみつめること
がごまました。時刻は、A.M.11時
センショウグモは、さうりど、
lunch timeに入ろうとして
いたのどしよう。この他、アズ
チグモ、ホラズミヤチグモ(Pad)
を採集しました。

急に、細いぐらうい道がら、日
あたるのよい、アズファルトの
ハイキング道路にでてしまいま
した。ゆきは石垣にち、ており。
しばらくは、日のよこみたる石
垣で、春の陽光を浴びるがら、
採集することにした。

ここどは、ハイトリグモの仲
間が多に、ヤマジハイトリの pad, ad,
シラホシコゲチャハイトリの pad, ad,
ネコハイトリ, マジカハイトリ
早さとをみるのがごまました。

また、石垣には、ハンゲツバキ
グモと、ヤマトガケジグモが、ほと
んど同じゆきとこにいました。
がい、採集をみれば(区別)はつま
ます。

イナズマハイトリ、ヤドカリグ
モも活発に、徘徊しておりました。
石垣の下部には、草かみり。
そこには、オオヤマシロカニグ
モ、デーニツツハイトリも
いました。

しばらくいきましたと、いろい
ろな草の茂り、ガケのよりの
地にちりました。石れきもあ
りました。石れきとのどしを
と、オトヒメグモの♀が一匹、
歩いていまいに、オトヒメエン
もいけば、ウラシマシロもいる
とおもって採集しましたが、い
せんでした。イオウイロハシリ
グモの幼虫、エビグモを採集
することがごまました。

ツバキの華裏においては、ウ
ロコヲシテグモ、増勢内網と
は、ていにかアオオニグモを採集
することがごまました。ツバキ
の木がおわ、ちとこうど、脇
(公園に通じる)道に入りまし
た。そして、ここど私ちの
lunch timeとしました。
ここまごど、44種のクモをみつ
けることがごまました。

お昼を食べたゆると、よる
えんが活発(クモをさがすこと)
をはじめました。そして、すぐ
にヤサリグモと、アリグモを
採集してました。真ん中に
ツバキとばかり、鳥根も、
キハダカニグモをみつめてま
した。

この公園内ど、はじめでビー
ティングを試みました。

ビーティングとは、私は、アマ
トカナエグモと、貞元君は、ト
ラスカニグモを、島根君は、ウ
カバグモを、まようの記録種と
して、新に加えることができ
ました。

大野君は、なしと、籠を中心
にビーティングし、トリノフン
ダマシの幼体を採集したのだし
た。まじいウヤ、ほり、いい
ことがありました。

63種めにして、トリノフンダ
マシをみるのができたのだす。
夏・秋みるのは、一風ちが、
た趣があるのだす。体長は1mm
より、とど、秋に出るしに時と
ほとんどビがわ、ているいように
おもえるのだす。

この公園内で記念撮影をして
もどりはじめました。帰り道に
は、アシナガグモ（オニグモの
類にいました）。カラスハエト
リ、アズマヤチグモ ad.
シモフリヤチグモ ad、 ヤマ
ヤチグモ、ヤミイロカニグモ、
ハナオニグモ、シヤコグモ、
ゴアシダカグモ、 *pirata* sp.
そして、最後は、コホラヒメグ
モでした。100種には、遠く
及びませんでしたが、77種の
クモと、おめにかかることができ
ました。

参考までに、1978.3.31の
採集と比較してみますと、1978
年の時採集できて、まようどま
をかつたクモには、次のよう
クモがいます。

カネコトタテグモ、マシラグ
モの一種、ヤリグモ、フリマネ
グモ、クリチャカサグモ、ヤチ
グモ、シラヒゲハエトリ、ナン
ゴツグモがいます。

1978年のものとあわせると、
相形山には、5種のクモが、
いることも支息している
ということになります。

文中にあらわれなき、クモ
としては、

- ハナグモ、オオシロカネグモ、
- イトチグモ、カラフトユモリ、
- ネコグモ、ジグモ、
- イツリグモ、シモフリミジン、
- ウツキコモリ、シボグモ、
- Salticidae* sp.
- Pardosa* sp. *Chiracanthium* sp.
- Erigonidae* sp.

などです。

(1981.4.29)

・クモのしりし

最近、話題になっている
Falkland Islands から
クモの切手が発行されている
のをみつけました。

その成体ど

学名は
Notiomaso australis

ど(た、

(おぼろしい)

★ 今年度 活動計画

5月16日 採集・観摩会

7月25日 " "

10月17日 " "

58年 2月20日 " "

以上 4回 今年は、
神奈川県 神武寺こ
にやいます

6月6日 総会
(大橋区民会館)

7月30日
5 会宿
8月1日 (場所は未定)

12月
合同例会
(場所は未定です)

以上が 5回
今年度の予定です。

★ 会計より

1981.11.11 ~ 1982.3.31

会費受領 (敬称略)

・55年度 ... 甲守宗

・56年度 ... 中津由美
大野正男 鈴木勝浩
加藤輝代子 甲守宗博
国見裕久 山本一博
下山彰夫 中井恒夫
熊田憲一

・57年度 ... 佐藤幸子
池田博明 阿佐見正起
国見裕久 高橋米夫
古内栄一 下野経明
藤井靖浩 原勝司

[訂正]

下謝石松学氏
(誤) 56.57年度 → (正) 55.56年度

[御寄付]

| | |
|---------|--------|
| 松本誠治 様 | 15,000 |
| 新海栄一 様 | 2,100 |
| 古内栄一 様 | 200 |
| 加藤輝代子 様 | コピー代 |

★ 会計局が57年度より高橋登氏
の担当になります。

〒210 川崎市川崎区観音
1-14-15 TEL 044-288-2821
口座番号は申し込み中に
つき未定です。
なお東京 7,74885の口座番号
はそのまま送りとおきます。

事務局からの報告

・今年度の予算案もそろそろ
みなさまのらき評に届く
かとおもいますが、皆様
の会費により、運営されて
おりますので、
会費の納入は、
ぜひとも、おはやめに
おねがいします。

・今年度から事務局が
かわりますので、連絡は
下記のようにおねがいします。

住所：〒272
市川市菅野3-1-6
あすろ荘 加藤方

電話：東京農業大学内 (AM 9:00 ~ PM 4:30)
03-420-2131
内線 328 加藤輝代子
258 鈴木勝浩

東京蜘蛛談話会
No. 37
1982年4月24日 発行

本部：〒191 日野市豊田 1896 ^{TEL} 0425-81-7128
置嶋 泉方

事務局：〒272 市川市菅野3-1-6 ^{TEL} 0473-25-4436
あすろ荘 加藤輝代子方

会計：〒210 川崎市川崎区観音 1-14-15
高橋 登方 ^{TEL} 044-288-2921

Kishidata: 〒226 横浜市緑区 竹山町 1-12-11
原稿受付 貞元 巴良方 ^{TEL} 045-932-3980

通信原稿：〒343-01 埼玉県北葛飾郡松伏町松伏3708
受付 鈴木勝浩方 ^{TEL} 0489-91-2884

事務局・会計が変更になります (6月6日の総会で承認後)